

簡易水道事業統合の効果について

令和2年8月

厚生労働省医薬・生活衛生局水道課
総務省自治財政局公営企業経営室

簡易水道事業統合の効果

ソフト面の効果

- ① 水道施設の**管理体制の効率化・強化**
 - ・ 水道計画、アセットマネジメント等の人材確保
 - ・ 遠隔監視システムによる施設管理の一体化、効率化
 - ・ 水質管理体制・施設管理体制の強化
- ② 公営企業会計適用により**経営状況が明確化（見える化）**
 - ・ 経営成績、財政状態等のより正確な把握による経営管理の向上・収支見通し等の精緻化
 - ・ 議会、住民へのよりの的確な経営状況の開示
 - ・ 適切な原価計算に基づく適正な料金水準への移行
 - ・ 資産状況を的確に把握し、長期的視野に立った計画的な資産管理を行うアセットマネジメント等を推進
- ③ 水道料金体系の統一による**料金負担の均てん化**
 - ・ 事業毎に設定されていた水道料金を統一したことによる料金負担の均てん化（極端に高い水道料金の解消）
- ④ 会計一元化による会計処理等**事務の効率化**
 - ・ 企業会計システムの導入による事務の効率化
 - ・ 料金体系統一による事務の軽減、予算書等作成事務の一元化

ハード面の効果

- ① 浄水場・配水池等の統廃合による効率化
 - ② 緊急時体制の強化、水源の多元化によるバックアップ体制の強化
- ※ 地理的条件等によっては、効果が発現しにくい場合もある。